

まるごとテーマパークプロジェクト

～まなびのみち創造事業～

—No.11 東松山市—

【事業の目的】

高坂駅を起終点に点在する地域資源を磨き上げ輝きを増すとともに、“学び”をテーマにつなぎ、交流人口の増加を目指します。

【事業の内容】

① 高坂彫刻プロムナード

高坂駅西口の高田博厚氏のブロンズ像が並び通りを「高坂彫刻プロムナード」と呼称し、ライトアップ、案内板の整備、没後 30 年企画展、フォーラムを開催します。

② 廃線敷の遊歩道化（第 2 工区）

葛袋産業団地から高本山付近までの廃線敷の遊歩道整備を行い、点在する資源を結び付けます。

③ 化石と自然の体験館増築

平成 28 年 4 月にオープンした「化石と自然の体験館」を増築し、観光交流拠点として活用します。

④ 鞍掛山散策路整備

埼玉県の川のまるごと再生プロジェクトの一環で整備したバーベキュー施設「くらかけ清流の郷」に隣接する鞍掛山の散策路整備を行います。

【事業年度】

平成 27 年 3 月～

【予算額(千円)】

①高坂彫刻プロムナード事業	20,000千円(平成29年度)
②廃線敷の遊歩道化(第2工区)	51,000千円(平成29年度)
③化石と自然の体験館増築	23,132千円(平成29年度)
④鞍掛山散策路整備	24,938千円(平成29年度)

【財源】

地方創生推進交付金(国)、地方創生拠点整備交付金(国)、一般財源(市)

【事業実施に至った背景・経緯】

市南部には化石や都幾川の鞍掛橋、彫刻通り、市民の森、平和資料館、こども動物自然公園など魅力的な資源がありますが、それぞれが点在しており、一体とした活用はされていませんでした。

そこで、平成27年10月に策定した東松山市まち・ひと・しごと創生総合戦略では、資源の活用と連携による観光まちづくりを基本的な方向性の一つとし、具体的な事業として「まるごとテーマパークプロジェクト」に位置付けました。

<平成28年度>

- ・ 「化石と自然の体験館」オープン、「くらかけ清流の郷」オープン
- ・ 廃線敷の遊歩道工事(第一工区)
- ・ 鞍掛山散策路整備

【事業のPRポイント】

まなびのみちには、産業遺産でもある廃線敷を活用した遊歩道、産業団地の工場見学、化石発掘体験、都幾川鞍掛橋周辺や市民の森での自然学習、平和学習の場となる美術館や資料館、こども動物自然公園、また、隣接する鳩山町のJAXA施設や石坂の森など、歩く、学ぶ、楽しむ魅力にあふれています。首都圏からの良好なアクセスを生かし、日帰り観光を中心とした学んで楽しめるテーマパーク化を進め、交流人口の増加を図ります。

高坂彫刻プロムナード事業は、高田博厚氏の没後30年の機会を捉え、観光面、文化面でも価値のある彫刻群として再プロデュースを行うものです。

【事業実績・成果・今後の展開】

平成 28 年 4 月 「化石と自然の体験館」オープン

5 月 「くらかけ清流の郷」オープン

平成 29 年度は、「化石と自然の体験館を増築」し、観光交流拠点化を図ります。観光情報の提供や気軽に立ち寄り休憩できるスペースを設け、ウォーカーやサイクリスト等の新たな誘客はもとより、体験館を訪れた観光客を周辺施設へ誘導する流れを生み出し、地域全体の観光を牽引していきます。更にオリジナル商品開発、記念品の作製や自然環境を生かしたワークショップを実施し、施設の収益力を向上させつつ、市の魅力を発信する拠点としての展開を図っていきます。

〔 連絡先 〕

政策推進課 活性化戦略室

0493(23)2221(内線224)